

2012年3月期 第2四半期決算説明会資料

財務責任者
宮崎 秀樹

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、

財務諸表の数値と異なる場合があります。

※詳しくは各スライドの脚注をご覧下さい。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

Executive Summary

- 国内たばこ事業は震災影響から着実に回復
シェア回復に取り組み、年度末3月単月で60%をめざす
- 国内たばこ事業の年間販売数量前提の見直しにより業績予想を上方修正
- 海外たばこ事業は足元7-9月速報値においても、トップライン成長が牽引し、好調に推移
- 海外たばこ事業の業績予想は、為替中立ドルベースEBITDAの対前年14%成長を見込み、前回見込から上方修正
- 医薬事業は後期開発品が充実(JT導入品目1品目がPh3、海外導出品目3品目がPh3以降)、JTK-303が導出先において米国FDAに承認申請
- 食品事業は基幹プラント「ルーツ」、ステープルが引き続き堅調に推移し第2四半期累計実績は増益
- 「JT-11」の目標である全社EBITDA年平均5%成長の達成に向け最大限努力していく所存

3



全社業績：2012年3月期 第2四半期累計実績

(単位:億円)	2010年 4-9月期 ²⁾	2011年 4-9月期	増減	<参考:のれん償却前>			2010年 4-9月期 ²⁾	2011年 4-9月期	増減
調整後売上高 ¹⁾	10,301	9,403	-8.7%				営業利益	2,468	-4.5%
EBITDA	3,071	2,961	-3.6%				経常利益	2,326	+1.1%
営業利益	2,006	1,930	-3.8%				四半期純利益	1,275	+8.6%
経常利益	1,864	1,925	+3.2%						
四半期純利益	813	958	+17.9%						

- 国内たばこ事業における販売数量の減少および海外たばこ事業における為替のマイナス影響により減収、国内たばこ事業・海外たばこ事業における単価上昇効果等が一部相殺したもののEBITDA、営業利益は減益
- 経常利益および四半期純利益は増益

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等 及び
海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

国内たばこ事業：2012年3月期 第2四半期累計実績

(単位：億本、億円)	2010年 4-9月期	2011年 4-9月期	増減
販売数量	865	509	-41.2%
調整後売上高 ¹⁾	3,514	2,795	-20.5%
EBITDA	1,501	1,356	-9.7%
営業利益	1,277	1,157	-9.4%

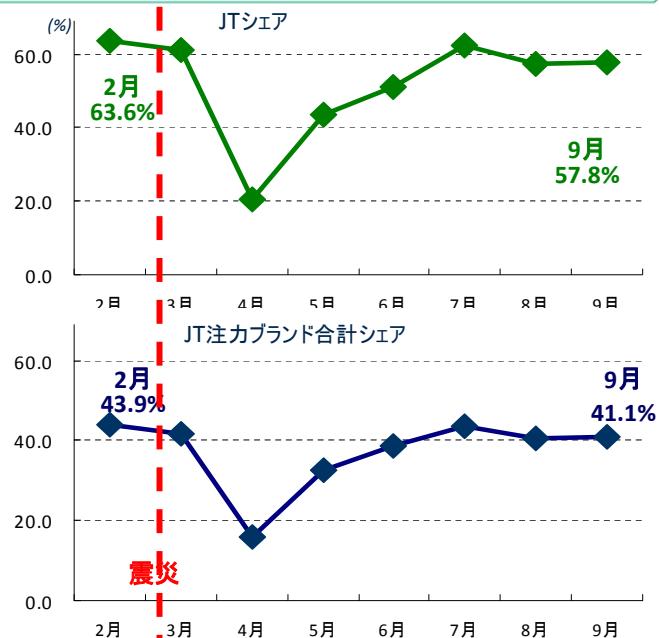
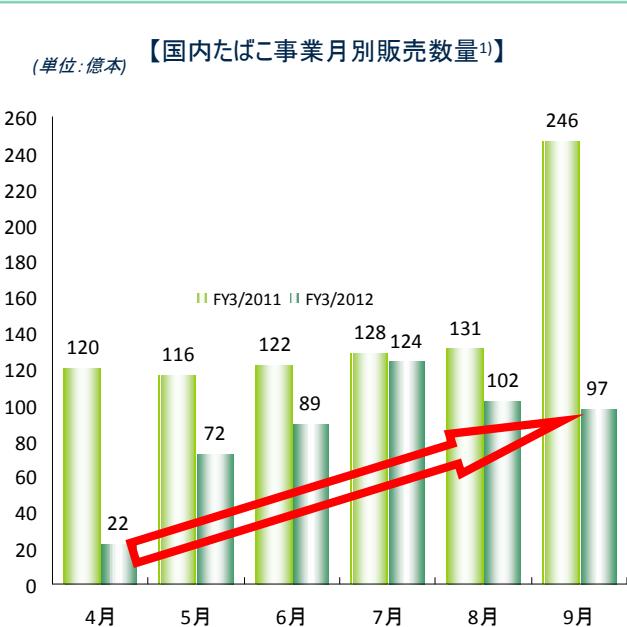
- 前年同期の増税前駆け込み需要の発生、増税/定価改定影響および東日本大震災影響により販売数量は41.2%減少
- 数量減影響を単価上昇効果が一部相殺したものの減収減益

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

5

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

国内たばこ事業：震災影響からの着実な回復



- 7-9月期の販売数量は前年同期の増税前駆け込み需要の反動および増税定価改定影響はあるものの、震災影響からは着実に回復
- 供給の再開とともにJTシェア、注力ブランドシェアともに着実に回復、年度末にはシェア60%を目指す

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

6

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

3

国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

(単位：億本、億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
販売数量	1,346	1,020	1,030	+10	-23.5%
調整後売上高 ¹⁾	6,179	5,645	5,690	+45	-7.9%
EBITDA	2,576	2,410	2,440	+30	-5.3%
営業利益	2,129	1,955	1,990	+35	-6.5%

- 販売数量見込を10億本上方修正
- 上記にともない売上高、EBITDAともに上方修正

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

7

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

国内たばこ事業：シェア回復に向けて

【新商品の投入・リニューアル】



＜無煙たばこ＞
ゼロスタイル・ミント
(12月上旬リニューアル)



＜無煙たばこ＞
ゼロスタイル・ビターリーフ
(12月上旬新発売)



＜リニューアル＞
キャビン・ファミリー5銘柄
(11月上旬予定)



＜スーパー・スリム商品＞
セブンスター・
カッティング・メンソール
(8月下旬新発売)



＜カプセル搭載＞
ビニッショ・
ヴィヴ・メンソール
(11月上旬新発売)



＜リニューアル＞
セブンスター・
アラスカ・メンソール
(10月下旬実施)

【お客様キャンペーン】



Zipooは全18種!! お好きなデザインを1つ選び、ご応募ください。

2011年11月30日(火)当日消印有効

日本たばこ全銘柄対象 「セブンスター・カッティング・メンソール・ビニッショ・ヴィヴ・アラスカ・メンソール」

日本たばこ全銘柄対象 「セブンスター・カッティング・メンソール・ビニッショ・ヴィヴ・アラスカ・メンソール」

日本たばこキャンペーン

- 新商品の投入やリニューアル、お客様へのダイレクトアプローチによるキャンペーンおよび販売店様とのコラボレーション施策等を通じ競争力を強化

このスライドは投資家に業績を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売もしくは喫煙を促す目的ではありません。

8

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

4

海外たばこ事業：2011年7-9月期速報値

(単位:億本、百万USS)	2011年 1-3月期	2011年 4-6月期	2011年 7-9月期	2011年 1-9月期
総販売数量 ¹⁾	945 (+0.5%)	1,104 (-0.2%)	1,147 (-0.0%)	3,196 (+0.0%)
GFB販売数量	558 (+2.1%)	662 (+4.0%)	706 (+5.8%)	1,927 (+4.1%)
調整後売上高 ²⁾	2,447 (+4.4%)	2,925 (+13.8%)	3,094 (+19.3%)	8,466 (+12.8%)
調整後千本当売上高 ³⁾ (USS)	26.1 (+3.9%)	26.7 (+14.0%)	27.2 (+19.3%)	26.7 (+12.7%)
【為替中立ベース】				
調整後売上高 ²⁾	2,495 (+6.5%)	2,725 (+6.0%)	2,916 (+12.5%)	8,136 (+8.4%)
調整後千本当売上高 ³⁾ (USS)	26.7 (+6.0%)	24.9 (+6.2%)	25.6 (+12.5%)	25.7 (+8.3%)

- Winston、LDに牽引され、GFB販売数量が5.8%成長
- 単価上昇効果により、ドルベース調整後売上高は19.3%成長、為替中立ベースでは12.5%成長

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除

IFRSの採用に伴い、2010年実績についても遡及修正を実施

9 3) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないIV販売数量を控除

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

海外たばこ事業：主要市場におけるシェア(12ヶ月移動平均)

	2010年9月	2011年9月	増減
Italy	19.4%	20.5%	+1.1ppt
France	15.8%	16.3%	+0.5ppt
Spain	20.7%	20.9%	+0.2ppt
UK	38.8%	39.0%	+0.2ppt
Russia	36.9%	37.0%	+0.1ppt
Turkey	21.8%	23.6%	+1.8ppt
Taiwan	37.7%	38.4%	+0.7ppt

出典: AC Nielsen、Logista、Altadis及びJT推定

- 全ての主要市場でシェアは引き続き増加

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

海外たばこ事業： 2011年7-9月期 4クラスター別 販売動向

【対前年同期販売数量¹⁾成長率】

	2011 1-3月期	2011 4-6月期	2011 7-9月期	2011 1-9月期
計	+0.5%	-0.2%	-0.0%	+0.0%
South & West Europe	-9.7%	+0.7%	+1.5%	-2.2%
North & Central Europe	+1.1%	-1.0%	+4.2%	+1.5%
CIS+	+0.7%	-3.1%	-4.4%	-2.6%
Rest-of-the-World	+5.3%	+5.2%	+6.0%	+5.5%

<速報値7-9月>

【対前年同期GFB販売数量成長率】

計	+2.1%	+4.0%	+5.8%	+4.1%
South & West Europe	-9.1%	+0.7%	+2.4%	-1.8%
North & Central Europe	+4.1%	+4.8%	+9.3%	+6.2%
CIS+	+7.3%	+7.8%	+5.6%	+6.9%
Rest-of-the-World	+3.9%	+0.5%	+8.0%	+4.1%

- 7-9月期のGFB販売数量は全てのクラスターでプラス成長
 - Winstonがロシア・中東において好調に推移し10.1%成長
 - LDがロシア・ポーランドにおいて好調に推移し14.6%成長

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

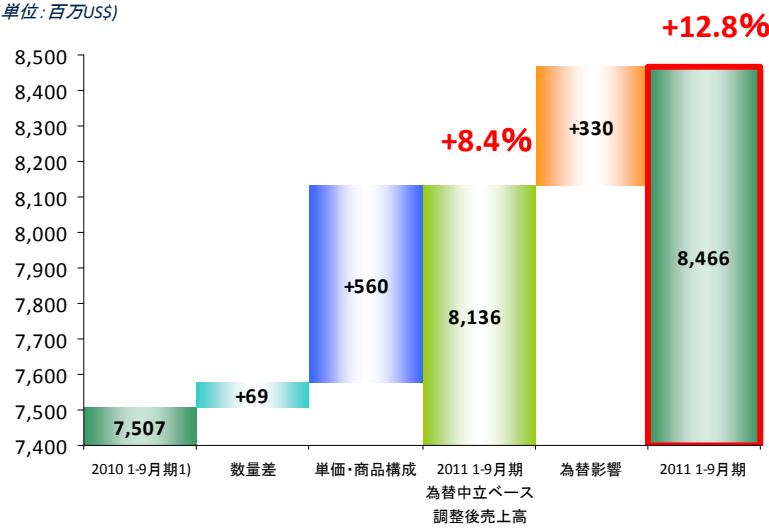
11

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

海外たばこ事業：2011年1-9月期 調整後売上高

【調整後売上高¹⁾Roadmap: 2010年1-9月期⇒2011年1-9月期】

(単位:百万US\$)



<速報値1-9月>

<増税・値上情報>

国	増税 11年9月 ⁱ⁾	値上げ	
		10年10月 11年7月、9月	10年11月 11年10月
Italy	11年9月 ⁱⁱ⁾	10年10月 11年7月、9月	
France	-	10年11月 11年10月	
Spain	10年12月	10年12月 11年6月-9月に 一時的に値下げ	
UK	11年 1月 ⁱⁱ⁾ 、3月	10年11月、 11年1月、3月、9月	
Russia	11年1月	10年12月、 11年6月	
Turkey	11年10月	11年10月	
Taiwan	11年9月 ⁱⁱ⁾	11年3月-4月、9月 ⁱⁱ⁾	

i) VAT課税率の引上げ

ii) 各月一部銘柄

- 単価上昇効果によりドルベース調整後売上高は12.8%成長、為替中立て8.4%成長
- 全ての主要市場において値上を実施

1) 物流事業、製造受託等を控除

IFRSの採用に伴い、2010年実績についても適宜修正を実施

12

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

6

海外たばこ事業：2012年3月期 業績予想

(単位: 億本、百万US\$)	2010年 実績 ³⁾ a	前回見込 b	2011年 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
	4,284		4,260	-20	-0.6%
総販売数量 ¹⁾	2,498	2,570	2,570	+0	+2.9%
為替中立ベース調整後売上高 ²⁾	10,113	10,880	10,930	+50	+8.1%
為替中立ベースEBITDA	3,338	3,710	3,810	+100	+14.2%
調整後売上高 ²⁾	10,113	11,490	11,230	-260	+11.0%
EBITDA	3,338	3,920	3,830	-90	+14.8%
(単位: 億円)					
調整後売上高 ²⁾	8,877	9,190	8,870	-320	-0.1%
EBITDA	2,930	3,130	3,020	-110	+3.1%

- 好調なトップライン成長によりEBITDAを100百万ドル上方修正、
為替中立ベースEBITDAは対前年14%成長を見込む
- 財務ベースEBITDAは為替前提の見直しによる190百万ドルのダウンサイドを織り込むものの、
対前年15%成長となる見込み
- 円高影響により円ベースEBITDAは対前年3%成長となる見込

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除

13 3) IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても追溯修正を実施

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

海外たばこ事業：為替前提と足元レート

	2010年 1-12月 実績	2011年 1-12月 前回見込	2011年 1-12月 今回見込	(参考) 2011年 1-9月実績	(参考)2011年 10月21日 スポットレート	(参考) 10-12月に10月21 日スポットレートが継 続した場合の2011 年平均レート
RUB/\$	30.36	28.50	30.00	28.79	31.02	29.35
GBP/\$	0.65	0.61	0.62	0.62	0.63	0.62
EUR/\$	0.75	0.70	0.71	0.72	0.72	0.72
CHF/\$	1.05	0.90	0.90	0.89	0.88	0.88
TWD/\$	31.73	28.70	29.00	29.16	30.27	29.44
円ドル	87.79	80.00	79.00	80.59	76.18	79.49

- 為替前提を変更するものの、為替動向は引き続き不安定

医薬事業 : 開発の進展状況

臨床開発品目(2011年10月31日現在)

【導出先における開発状況】

JTK-303: ギリアド・サイエンシズ社(米国)へ導出、
同社で配合錠として申請中

JTT-705: ロシュ社(スイス)へ導出、

同社でPhase3

MEK阻害剤: GSK社(英国)へ導出、

同社でPhase3

抗ICOS抗体: メディミューン社(米国)へ導出、

同社でPhase1

新規臨床入り

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内: 申請準備中 (配合錠として)	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社では申請中(配合錠として))
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2	
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外: Phase2	
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内: Phase3	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルス社より日本における開発・商業化権を導入(鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	C型肝炎	海外: Phase1	
JTT-851 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase1	
JTZ-951 (経口)	腎性貧血	国内: Phase1	

- 後期開発品が充実(JT導入品目1品目、海外導出品目3品目がPh3以降)
- ギリアド社がJTK-303を含む配合錠について、米国食品医薬局に対して新薬承認申請
- JT臨床開発品目については、2品目を中止、1品目新規臨床入り

15

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

医薬事業 : 2012年3月期 第2四半期累計実績および業績予想

【第2四半期累計実績】

	(単位: 億円)	2010年 4-9月期	2011年 4-9月期	増減
売上高	231	243	+12	
EBITDA	-48	-72	-24	
営業利益	-67	-90	-22	

【業績予想】

(単位: 億円)	2011年3月期 実績	2012年3月期 前回見込	2012年3月期 今回見込	対前回見込 増減	対実績 増減
	a	b	c	c-b	c-a
売上高	469	490	500	+10	+30
EBITDA	-132	-175	-140	+35	-7
営業利益	-174	-215	-180	+35	-5

- 第2四半期累計実績: 鳥居薬品の增收、開発進展に伴う鳥居薬品の研究開発費の増により減益
- 業績予想: 一時金収入により売上高を上方修正、加えてJT研究開発費の減により利益も上方修正

16

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

8

食品事業：2012年3月期 第2四半期累計実績および業績予想

【第2四半期累計実績】	2010年 4-9月期	2011年 4-9月期	増減
(単位:億円)			
売上高	1,968	1,875	- 92
飲料事業	1,007	1,032	+24
加工食品事業等	960	843	- 117
EBITDA	96	109	+13
営業利益	-33	-27	+5



【業績予想】	2011年3月期 実績 (単位:億円)	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
売上高	3,750	3,655	3,730	+75	- 20
EBITDA	172	200	200	+0	+27
営業利益	-94	-80	-85	- 5	+9



- ▶ 第2四半期累計実績：基幹ブランド「ルーツ」、ステープル(主食)の拡販による売上増があったものの、加工食品事業等における一部事業の廃止影響等により事業全体では減収、「ルーツ」のブランド価値向上に向けた広告宣伝費の増加の一方で利益率の高いステープルへの戦力集中による収益力向上、コスト削減等により増益
- ▶ 業績予想：飲料事業における「ルーツ」の堅調な販売実績により売上高は上方修正するも、飲料事業において下期に向けて固定費の増加等を見込み利益見込は変更なし

2012年3月期 全社業績予想

	2011年3月期 実績 ²⁾ (単位:億円)	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
調整後売上高 ¹⁾	19,469	19,150	18,950	- 200	- 2.7%
EBITDA	5,425	5,500	5,370	- 130	- 1.0%
営業利益	3,332	3,360	3,290	- 70	- 1.3%
経常利益	3,130	3,240	3,180	- 60	+1.6%
当期純利益	1,453	1,610	1,610	+0	+10.8%
ROE(%)	9.2%	10.4%	10.4%	+0.0ppt	-
FCF*	2,997	3,000	3,120	+120	+4.1%
【のれん償却影響前】					
当期純利益	2,333	2,460	2,420	- 40	+3.7%
EPS(円)	24,378円59銭	25,836円34銭	25,416円23銭	-420円11銭	+4.3%
1株当たり配当金(円)	6,800	8,000	8,000	+0	+17.6%
配当性向(%)	27.9%	31.0%	31.5%	+3.6ppt	-

*FCFの2012年3月期前回見込・今回見込には期末休日影響による国内たばこ税納付の繰越影響等期ずれ要因1,000億円強が含まれる

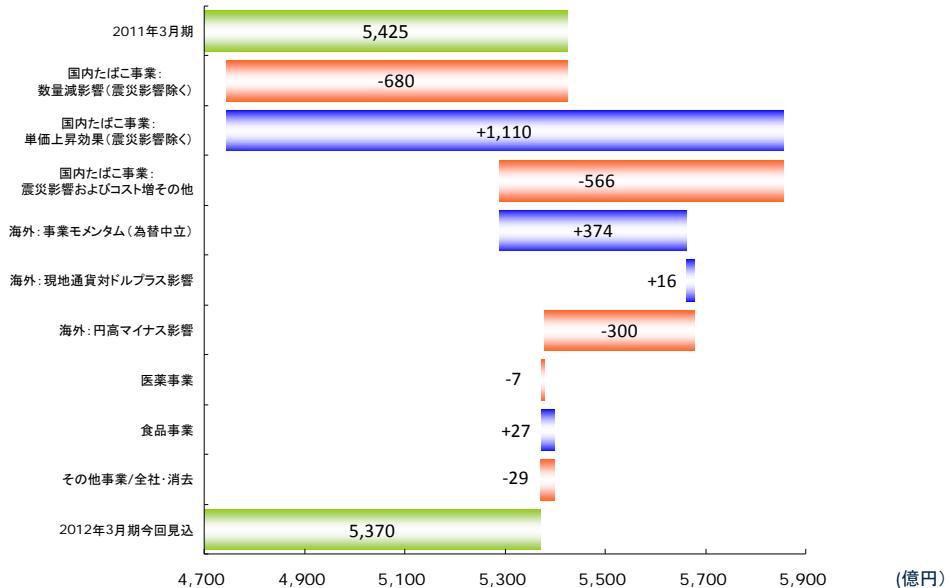
- ▶ 国内たばこ事業における販売数量の上方修正、海外たばこ事業における単価上昇効果を見込むものの、為替のマイナス影響が上回り、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益は下方修正
- ▶ 当期純利益は変更なし

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等 及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

2012年3月期 全社業績予想

【全社EBITDA 2012年3月期見込対2011年3月期実績増減内訳】

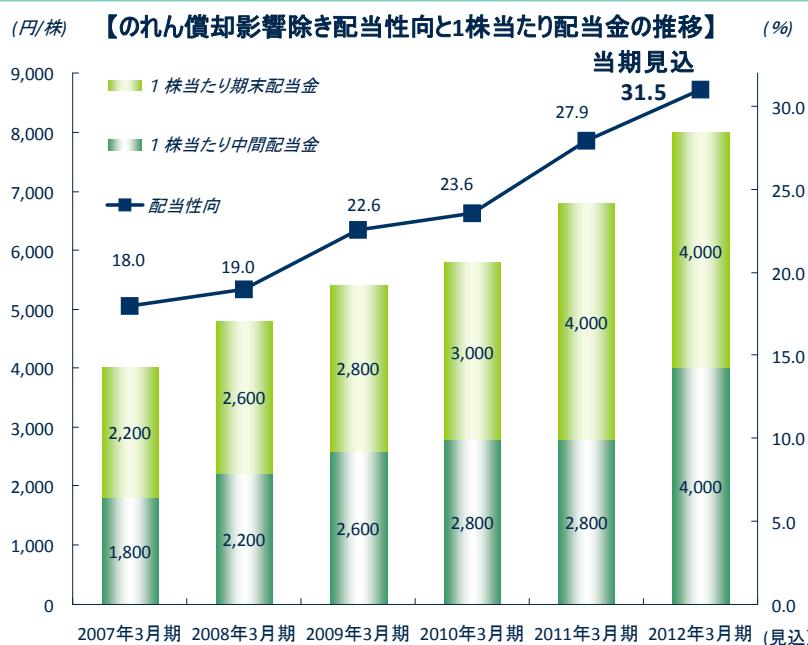


- 対前年では、全社EBITDAは事業モメンタムにより着実に成長するものの、国内たばこ事業における震災影響等および海外たばこ事業の円高影響により相殺
- 「JT-11」の目標である全社EBITDA年平均5%成長の達成に向け最大限努力

19

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

株主還元



- 安定したキャッシュ・フローを事業投資、株主還元に配分するとの基本方針の下、従来の配当方針を堅持
- 「JT-11」で掲げた、中期的な目標値であるのれん償却影響を除く連結配当性向30%を11年度に達成する見込み

*海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績以降は
変更後で算出

20

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

10

増税・政府保有株放出に対する基本スタンス

- 復興財源としてのたばこ税増税に対するスタンス
- 政府保有株式の放出に対するスタンス

<Back up data>

All the Detailed figures comes to
<Back up data>

<Back up data No.1>海外たばこ事業 2012年3月期 第2四半期累計実績

(単位:億本、百万US\$)	2010年 1-6月期 ⁴⁾	2011年 1-6月期	増減
総販売数量 ¹⁾	2,047	2,049	+0.1%
GFB販売数量	1,183	1,220	+3.2%
調整後売上高 ²⁾	4,914	5,372	+9.3%
調整後千本当売上高 ³⁾ (US\$)	24.2	26.4	+9.2%
\$ベースEBITDA	1,712	1,962	+14.6%
円ベースEBITDA(億円)	1,563	1,608	+2.9%
【為替中立ベース】			
調整後売上高 ²⁾	4,914	5,220	+6.2%
調整後千本当売上高 ³⁾ (US\$)	24.2	25.7	+6.1%
\$ベースEBITDA	1,712	1,939	+13.3%

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除

3) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、
売上高に計上していないV販売数量を控除

4) IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

23

ひとの
ときを、
想う。



<Back up data No.2> GFB Volume

<速報値 7-9月>

(単位:億本)	2011年 1-3月期	2011年 4-6月期	2011年 7-9月期	2011年 1-9月期
GFB販売数量	558 (+2.1%)	662 (+4.0%)	706 (+5.8%)	1,927 (+4.1%)
Winston	280 (+3.1%)	335 (+4.6%)	363 (+10.1%)	977 (+6.1%)
Camel	90 (-5.7%)	107 (-0.5%)	111 (-2.0%)	308 (-2.6%)
Mild Seven	51 (+16.4%)	47 (-3.4%)	47 (-5.2%)	145 (+2.0%)
B&H	25 (-1.1%)	28 (+0.6%)	28 (+6.1%)	81 (+1.9%)
Silk Cut	10 (-9.3%)	10 (-8.9%)	10 (-9.8%)	30 (-9.3%)
LD	78 (+5.5%)	105 (+13.2%)	116 (+14.6%)	300 (+11.6%)
Sobranie	2 (-33.5%)	3 (+5.79%)	4 (-8.3%)	9 (-2.4%)
Glamour	22 (-0.6%)	27 (+1.8%)	27 (-13.5%)	77 (-4.9%)



ひとの
ときを、
想う。



24

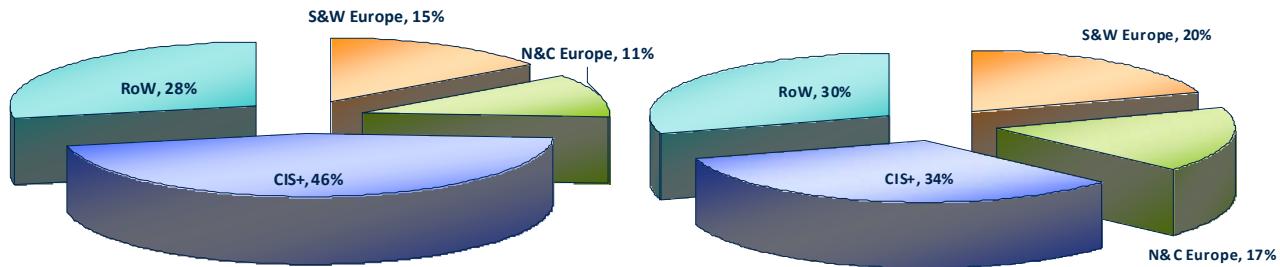
12

<Back up data No.3> Composition Ratio by 4 cluster

<速報値 1-9月>

販売数量¹⁾

調整後売上高²⁾



1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業/製造受託/その他を控除

25

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

<Back up data No.4> 主要市場におけるシェア (3ヶ月平均)

	2010年 7-9月	2010年 10-12月	2011年 1-3月	2011年 4-6月	2011年 7-9月
Italy	19.9%	20.3%	20.4%	20.6%	20.8%
France	16.0%	16.2%	16.2%	16.2%	16.6%
Spain	20.0%	20.8%	20.3%	20.6%	21.7%
UK	38.8%	39.4%	39.0%	38.9%	38.8%
Russia	37.1%	36.8%	37.1%	37.2%	37.0%
Turkey	23.5%	23.0%	23.3%	23.9%	24.2%
Taiwan	38.4%	38.5%	39.3%	37.7%	38.2%

出典:AC Nielsen、Logista、Altadis及びJT推定

26

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

13

<Back up data No.5> FX rate

	2010年 1-3月 期中平均 実績レート	2011年 1-3月 期中平均 実績レート	2010年 4-6月 期中平均 実績レート	2011年 4-6月 期中平均 実績レート	2010年 7-9月 期中平均 実績レート	2011年 7-9月 期中平均 実績レート	2010年 1-9月 期中平均 実績レート	2011年 1-9月 期中平均 実績レート
RUB/\$	29.85	29.30 (+1.9%)	30.25	28.00 (+8.0%)	30.62	29.08 (+5.3%)	30.24	28.79 (+5.0%)
GBP/\$	0.62	0.63 (-1.5%)	0.66	0.61 (+8.3%)	0.66	0.62 (+6.2%)	0.65	0.62 (+4.3%)
EUR/\$	0.70	0.75 (-6.0%)	0.75	0.70 (+8.5%)	0.79	0.71 (+12.3%)	0.75	0.72 (+4.7%)
CHF/\$	1.04	0.96 (+8.4%)	1.08	0.87 (+24.1%)	1.08	0.82 (+31.4%)	1.07	0.89 (+20.7%)
TWD/\$	32.09	29.51 (+8.7%)	31.71	28.86 (+9.9%)	32.09	29.13 (+10.2%)	31.96	29.16 (+9.6%)
円 ドル	90.69	82.31 (+10.2%)	92.01	81.71 (+12.6%)	85.91	77.86 (+10.3%)	89.49	80.59 (+11.0%)

<Back up data No.6> IFRS移行に伴う財務諸表影響について(試算)

➤ 売上高・利益に関する試算

日本基準による2012年3月期業績見込について、IFRSに移行した場合の試算

日本 基準 (単位:億円)	主な調整項目							IFRS による 試算
	営業外・ 特別損 益組替	収益 組替	固定資 産関係	退職給 付関係	のれん償 却停止	その他	調整額 合計	
売上高	24,970	-4,950					-4,950	20,020
EBITDA	5,370	-300	-20	130	10	-170	5,200	
営業利益	3,290	-300	40	130	810	10	700	3,990
当期純利益	1,610		20	70	810	10	910	2,520

* 日本基準による業績予想の表示区分を用いて掲載

* 国内たばこ事業・海外たばこ事業における調整後売上高の組替影響はありません。

【参考資料】

2012年3月期 第2四半期累計実績 および 2012年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

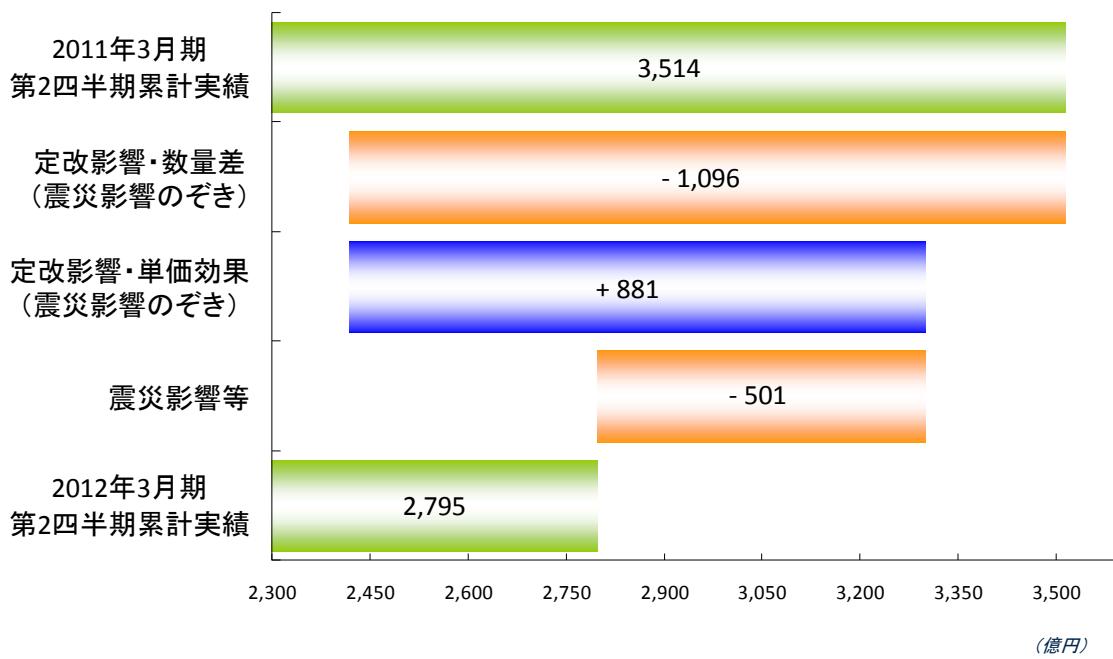
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 国内たばこ事業 調整後売上高¹⁾



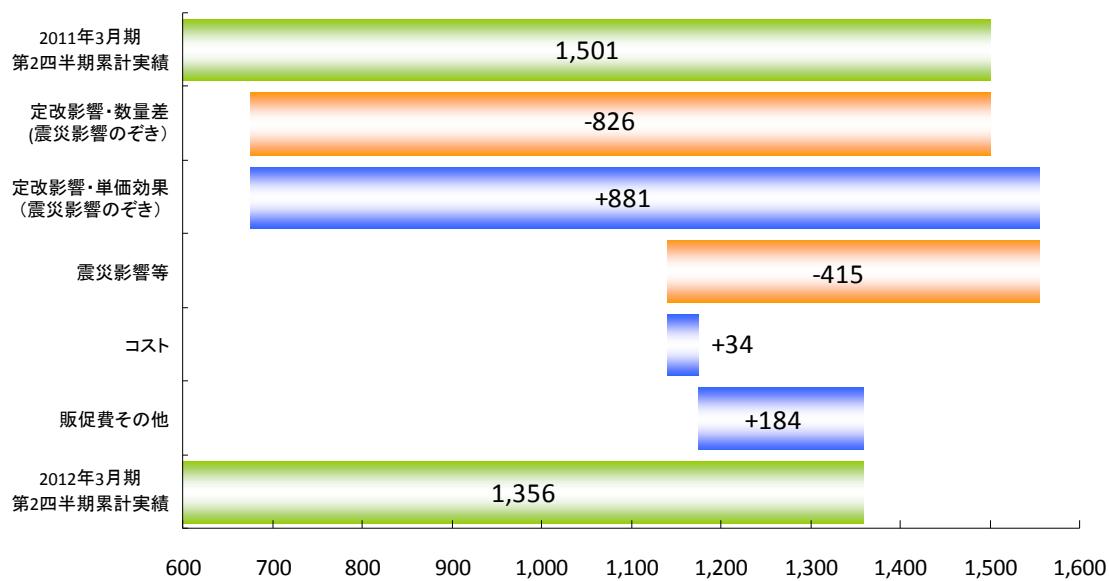
1)従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

3

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 国内たばこ事業 EBITDA



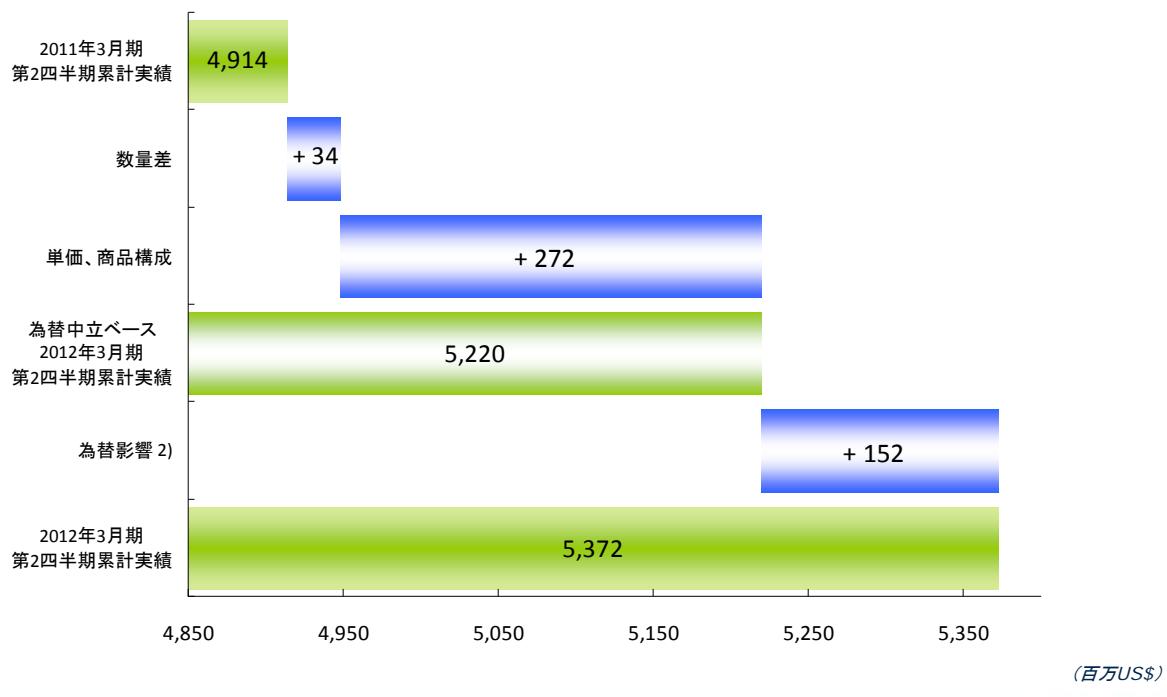
4

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

16

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 海外たばこ事業 調整後売上高¹⁾



1) 従前の調整後売上高は調整後売上高に名称変更
物流事業、製造受託等を控除
IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及修正を実施

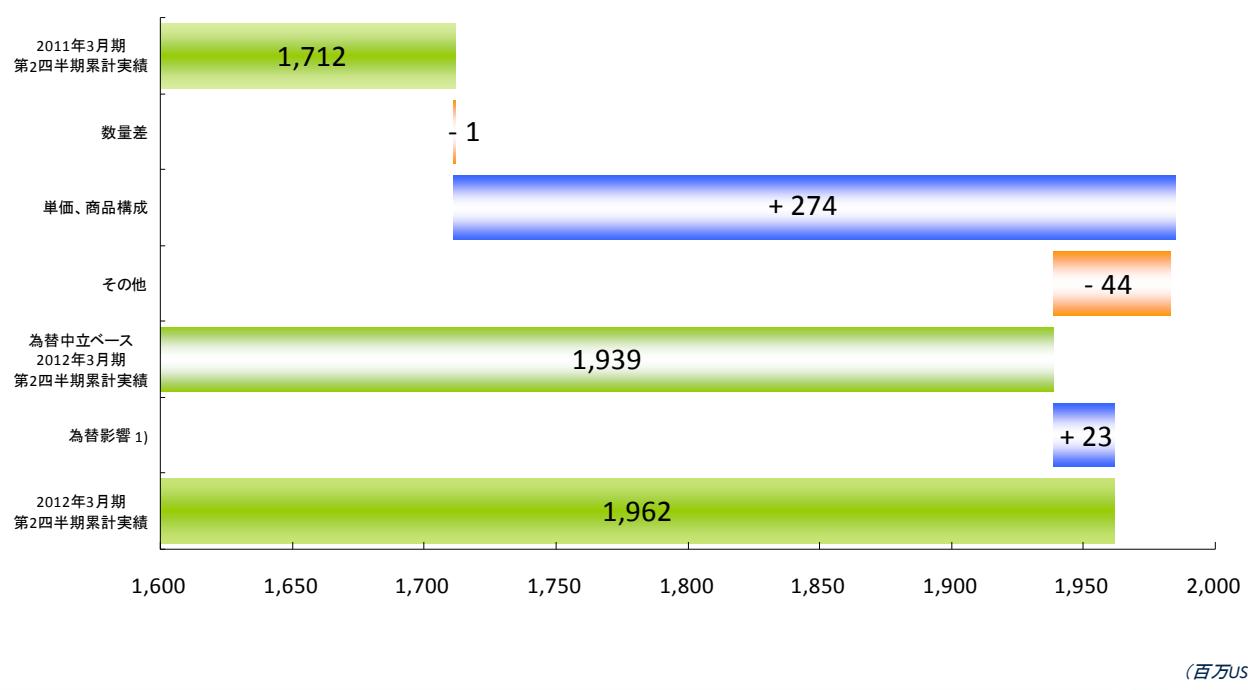
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

5

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA



1) USドルと各現地通貨との間の為替影響

2) IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及修正を実施

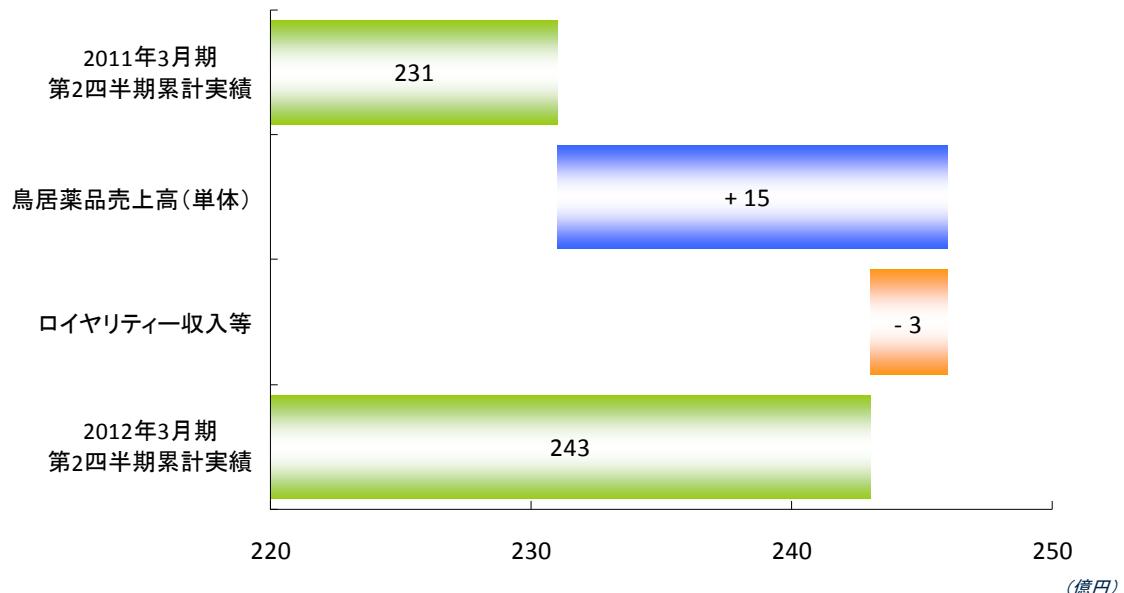
6

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

17

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 医薬事業 売上高

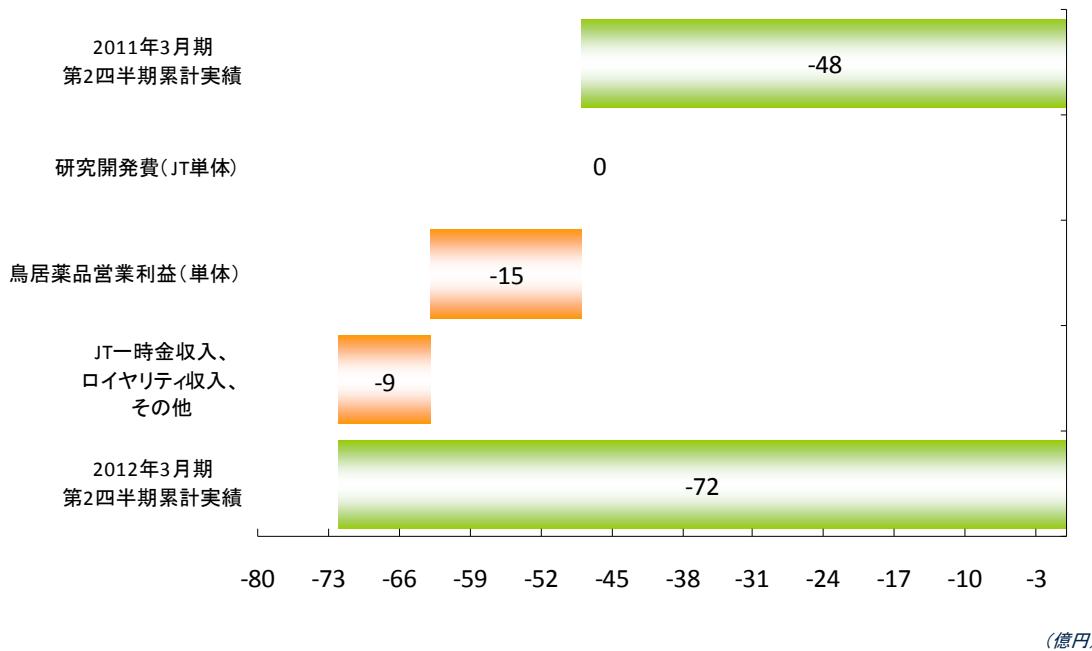


ひとの
ときを、
想う。 **JT**

7

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 医薬事業 EBITDA



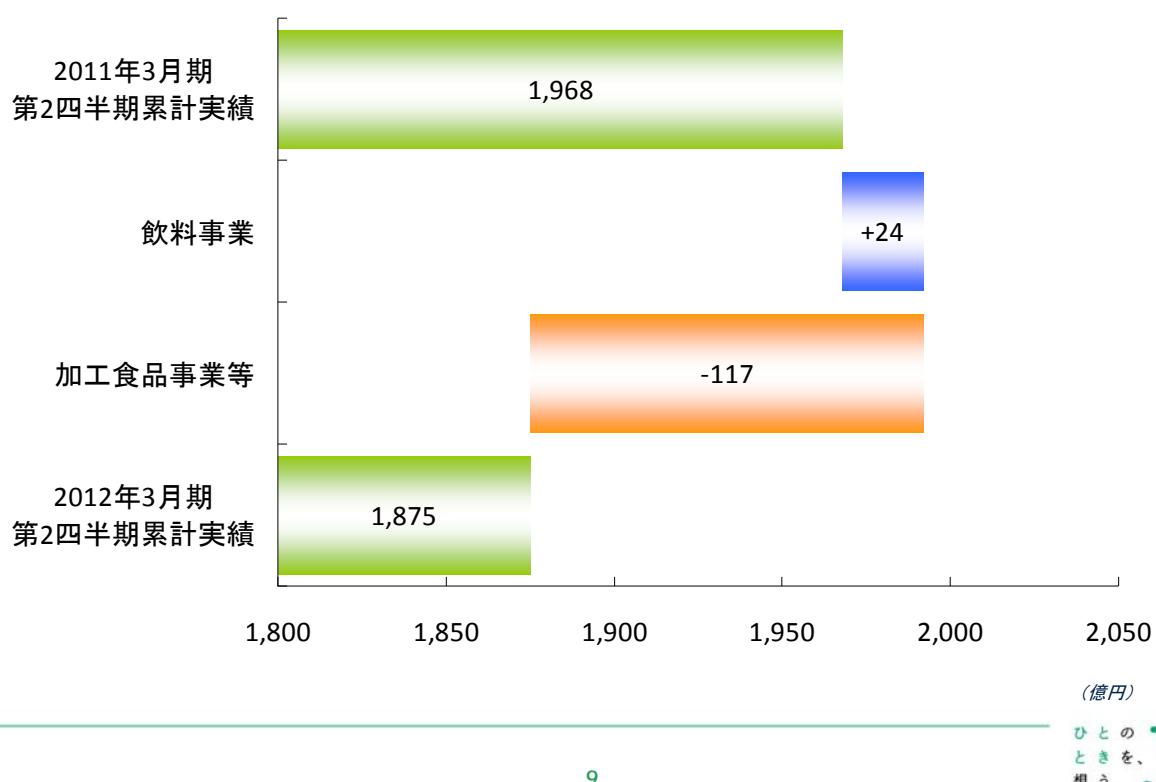
ひとの
ときを、
想う。 **JT**

8

18

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 食品事業 売上高

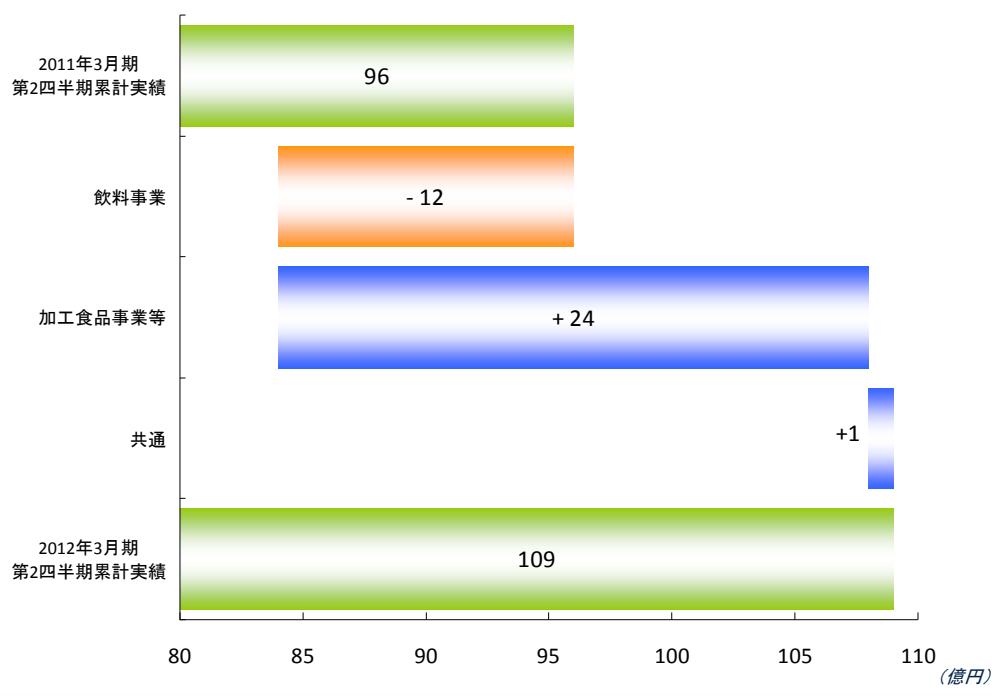


ひとの
ときを、
想う。 **JT**

9

2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 食品事業 EBITDA



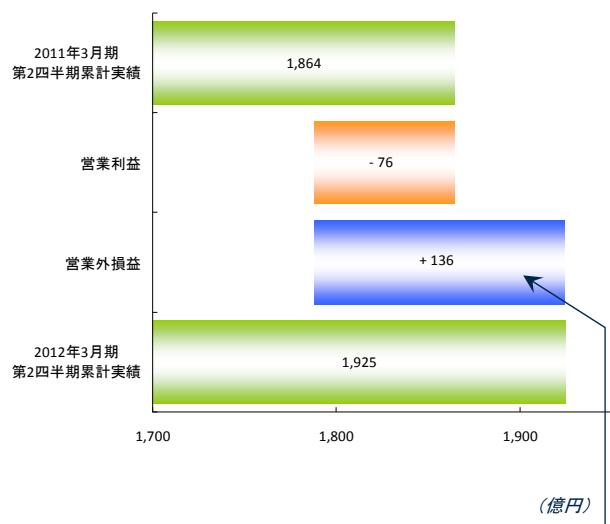
ひとの
ときを、
想う。 **JT**

10

19

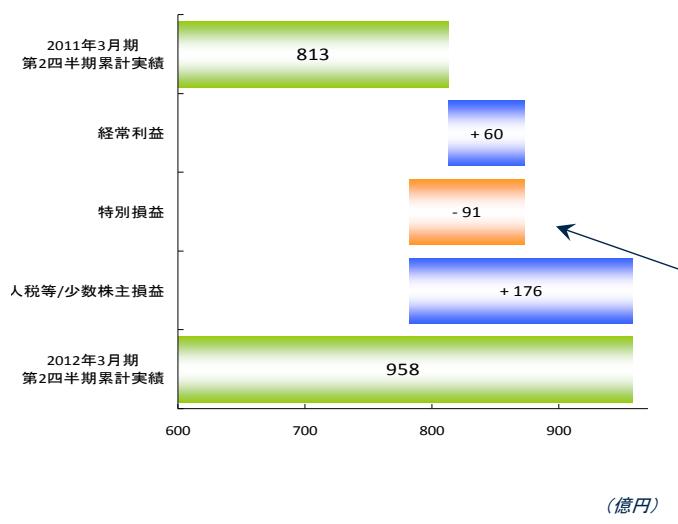
2012年3月期 第2四半期累計実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 69億円
悪化要因: たばこ災害援助金の増: 12億円 等

□ 四半期純利益



改善要因: 前年のカナダ行政法規違反過料計上: 133億円
悪化要因: 葉たばこ廃作協力金: 123億円
東日本大震災による損失: 126億円
事業構造強化費用の増(Hainburg工場閉鎖等): 62億円等

11

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

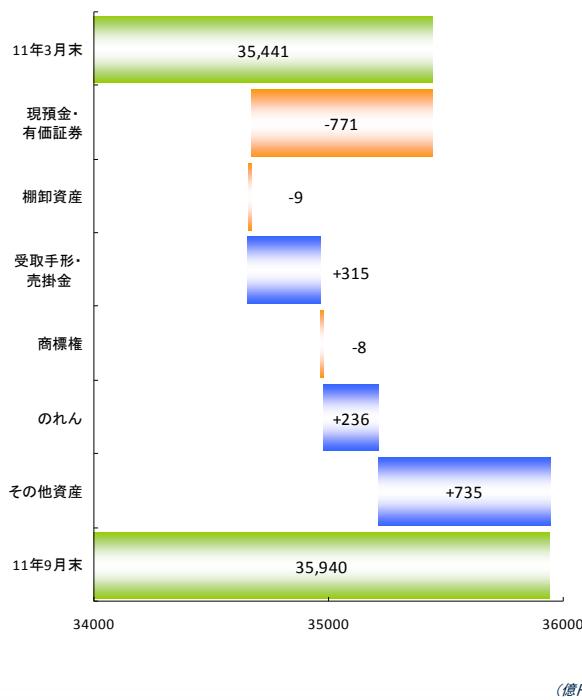
(このスライドは空白です)

12

ひとの
ときを、
想う。 **JT**
20

2012年3月期 第2四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2011年3月末・9月末比較



□ 流動資産:△9億円

【現預金・有価証券減少】△771億円

- ・社債返済による減等

【受取手形・売掛金増加】+315億円

- ・海外たばこ事業における売上高の増

【その他流動資産増加】+455億円

- ・短期貸付金の増

□ 固定資産+509億円

【のれんの増加】+236億円

- ・海外たばこ事業における為替影響

【その他固定資産の増加】+289億円

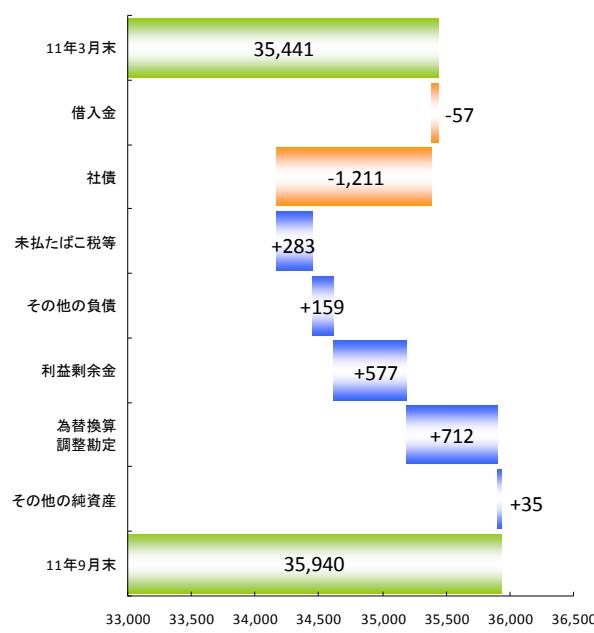
- ・海外たばこ事業における繰延税金資産の増加

13

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

2012年3月期 第2四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2011年3月末・9月末比較



□ 負債合計:△826億円

【借入金減少】△57億円

【社債減少】△1,211億円

【未払たばこ税等の増】+283億円

- ・海外たばこ事業における増加

□ 純資産合計: +1,326億円

【利益剰余金の増加】+577億円

- ・増加要因: 当期純利益の計上
- ・減少要因: 配当金の支払い

【為替換算調整勘定】+712億円

- ・海外たばこ事業におけるのれんの期末残高の増
(EUR/RUB/GBP高による改善)

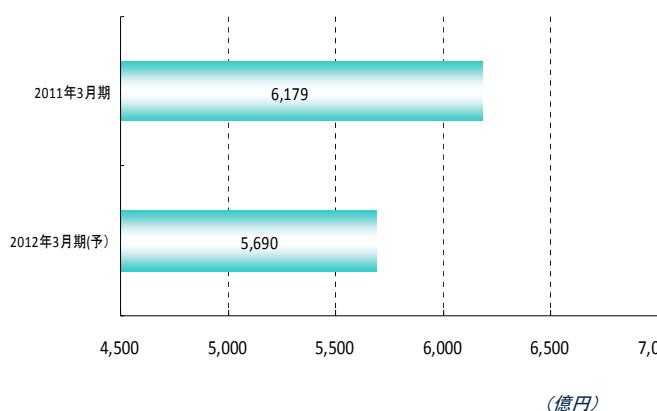
14

ひとの
ときを、
想う。 **JT**
21

2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後売上高¹⁾/EBITDA

● 調整後売上高¹⁾



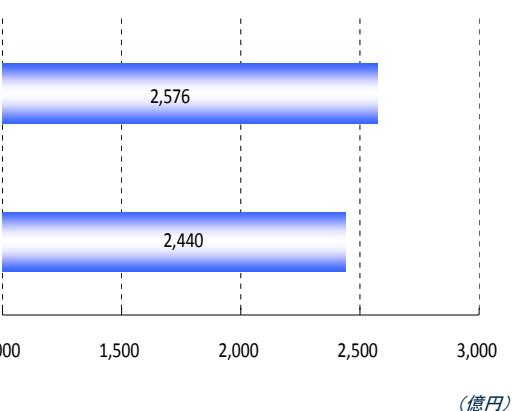
【主な減少要因】

- 増税定改および震災影響による
JT販売数量の減:
1,346億本⇒1,030億本

【主な増加要因】

- 単価上昇効果

● EBITDA



【主な減少要因】

- 増税定改および震災影響による
JT販売数量の減
1,346億本⇒1,030億本

【主な増加要因】

- 単価上昇効果

1) 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

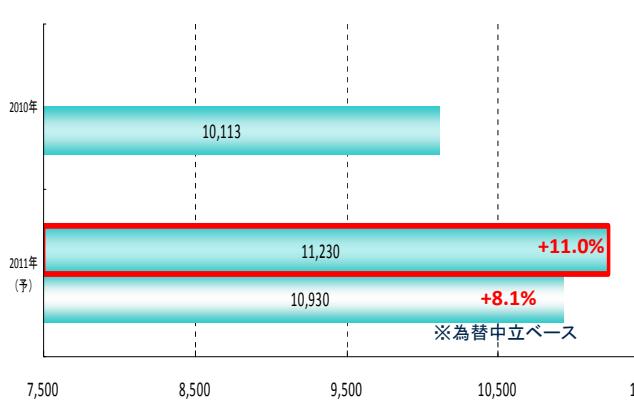
15

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後売上高¹⁾²⁾(\$ベース)/EBITDA²⁾(\$ベース)

● 調整後売上高¹⁾²⁾



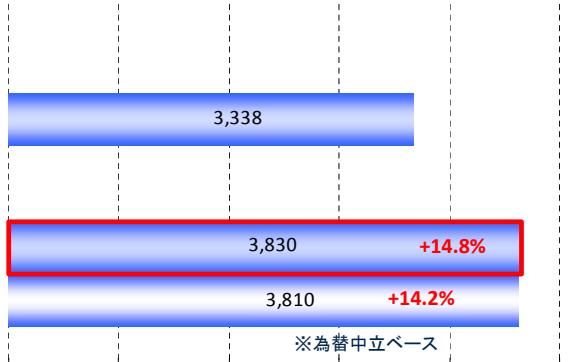
【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果
- 為替影響(現地通貨対ドル)

【主な減少要因】

- 数量影響

● EBITDA²⁾



【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果
- 為替影響(現地通貨対ドル)

【主な減少要因】

- 数量影響

1) 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
物流事業、製造受託等を控除

2) IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及
修正を実施

16

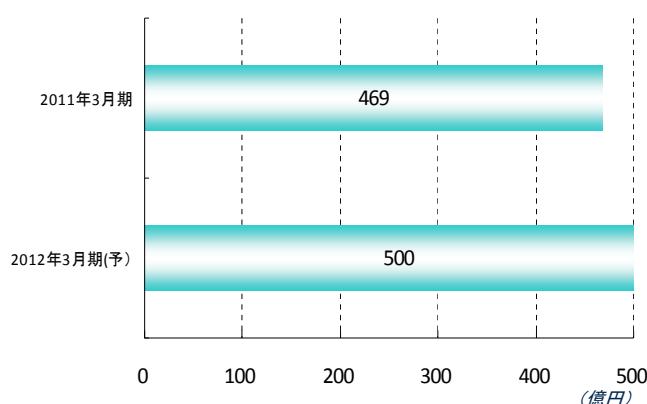
ひとの
ときを、
想う。 **JT**

22

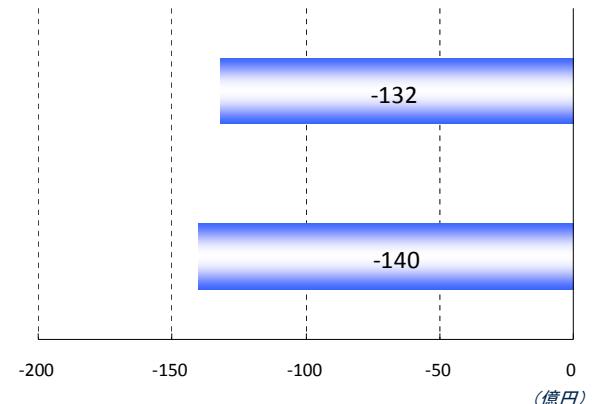
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA

● 売上高



● EBITDA



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の売上高: 453億円→488億円(+34億円)

【主な増加要因】

- 鳥居薬品の増益

【主な減少要因】

- 研究開発費の増加

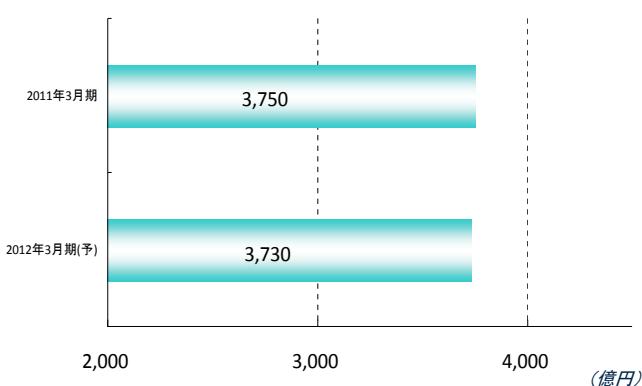
17



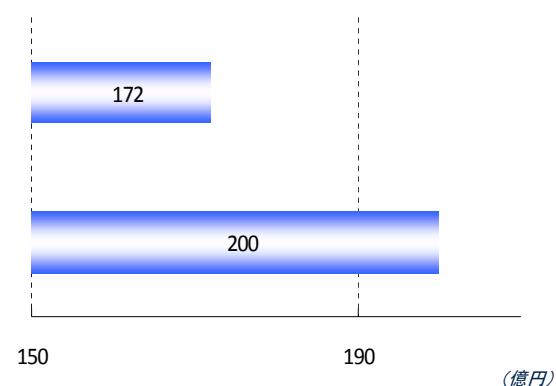
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA

● 売上高



● EBITDA



【主な増加要因】

- 飲料事業における基幹ブランド「ルーツ」への注力
- 加工食品事業等における主力分野への戦力集中による成長

【主な増加要因】

- 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

【主な減少要因】

- 加工食品事業等における前年度の精白米等の卸売事業廃止・一部子会社を連結対象外とした影響等

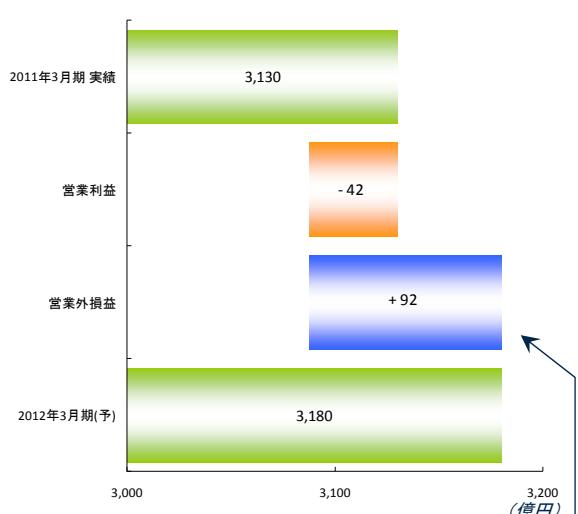
18



23

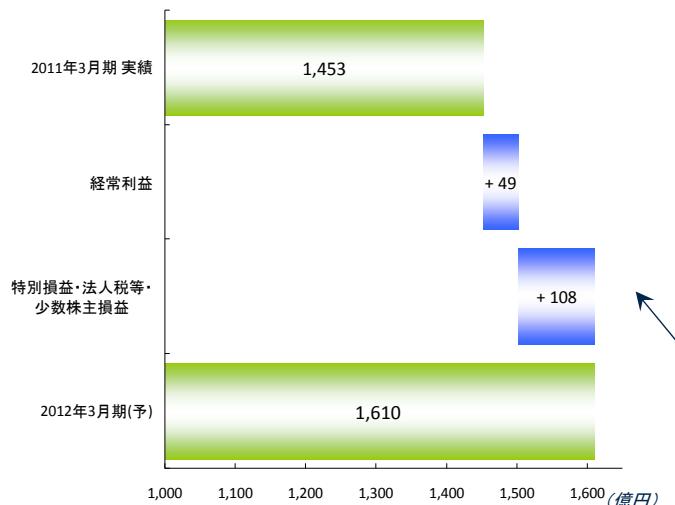
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益



改善要因: 金融損益の改善等

□ 当期純利益



改善要因: 前年のカナダ行政法規違反過料計上: 128億円
固定資産除売却損益の増加: 120億円
葉たばこ廃作協力金計上: 123億円
悪化要因: 前年の投資有価証券売却益計上: 53億円
事業構造強化費用 (Hainburg工場閉鎖等)の増加
東日本大震災による損失の増加

海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても
遡及修正を実施

19

ひとの
ときを、
想う。 JT

2012年3月期連結業績予想(前回見込との比較)

- 日本の会計基準を採用しています。
- ・従前(注1)たばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
- ・海外たばこ事業については、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
売上高 ^(注1)	24,460	24,970	+510	2.1%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,150	18,950	-200	-1.0%
EBITDA	5,500	5,370	-130	-2.4%
営業利益	3,360	3,290	-70	-2.1%
経常利益	3,240	3,180	-60	-1.9%
当期純利益	1,610	1,610	+0	+0.0%
ROE(株主資本利益率)	10.4%	10.4%	+0.0ppt	
フリー・キャッシュフロー	3,000	3,120	+120	+4.0%

(参考:のれんの償却影響を除く)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
当期純利益	2,460	2,420	-40	-1.6%
EPS(円)	25,836.34	25,416.23	-420.11	-1.6%
1株当たり配当金(円)	8,000	8,000	+0	+0.0%
配当性向	31.0%	31.5%	+0.5ppt	

事業セグメント別業績予想 (単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
売上高 ^{(注1)(注2)}	24,460	24,970	+510	+2.1%
国内たばこ事業 ^(注1)	10,230	11,000	+770	+7.5%
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	9,930	9,580	-350	-3.5%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,150	18,950	-200	-1.0%
国内たばこ事業 ^(注3)	5,645	5,690	+45	+0.8%
海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)}	9,190	8,870	-320	-3.5%
医薬事業	490	500	+10	+2.0%
食品事業	3,655	3,730	+75	+2.1%
その他の売上高	170	160	-10	-5.9%
EBITDA ^{(注2)(注5)}	5,500	5,370	-130	-2.4%
国内たばこ事業	2,410	2,440	+30	+1.2%
海外たばこ事業 ^(注2)	3,130	3,020	-110	-3.5%
医薬事業	-175	-140	+35	-
食品事業	200	200	+0	+0.0%
その他/全社・消去	-70	-150	-80	-
営業利益 ^(注2)	3,360	3,290	-70	-2.1%
国内たばこ事業	1,955	1,990	+35	+1.8%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,820	1,760	-60	-3.3%
医薬事業	-215	-180	+35	-
食品事業	-80	-85	-5	-
その他/全社・消去	-120	-190	-70	-
減価償却費 ^{(注2)(注6)}	2,140	2,080	-60	-2.8%
国内たばこ事業	455	450	-5	-1.1%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,310	1,260	-50	-3.8%
医薬事業	40	40	+0	+0.0%
食品事業	280	285	+5	+1.8%
その他/全社・消去	50	40	-10	-20.0%

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
資本的支出 ^(注2)	1,330	1,340	+10	+0.8%
国内たばこ事業	605	635	+30	+5.0%
海外たばこ事業 ^(注2)	440	430	-10	-2.3%
医薬事業	30	30	+0	+0.0%
食品事業	210	200	-10	-4.8%
その他/全社・消去	45	40	-5	-11.1%

(参考) (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
海外たばこ事業	11,490	11,230	-260	-2.3%
調整後売上高 ^{(注2)(注4)}	10,880	10,930	+50	+0.5%
為替中立ベース海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)(注7)}	3,920	3,830	-90	-2.3%
海外たばこ事業EBITDA ^(注2)	3,710	3,810	+100	+2.7%

(注1):たばこ税相当額を控除

(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月

(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費^(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

(注7):2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
販売数量	1,020	1,030	+10	+1.0%

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
総販売数量※	4,280	4,260	-20	-0.5%
GFB販売数量	2,570	2,570	+0	-
円/USドルレート	80.00	79.00	-1.00	1.3%高
RUB/USドルレート	28.50	30.00	+1.50	5.0%安
GBP/USドルレート	0.61	0.62	+0.01	1.6%安
EUR/USドルレート	0.70	0.71	+0.01	1.4%安
CHF/USドルレート	0.90	0.90	-0.00	-
TWD/USドルレート	28.70	29.00	+0.30	1.0%安

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	930	930	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	前回見込	今回見込	償却年数
テープルマーク関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	250	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2012年3月期連結業績予想(前期実績比較)

- ・日本の会計基準を採用しています。
- ・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
- ・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。米国会計基準からIFRSへの変更に関し、過年度遡及修正に係る会計基準に従い、2010年の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。

(単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高 ^(注1)	24,861	24,326	24,970	+644	+2.6%
〔調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,566	19,469	18,950	-520	-2.7%
EBITDA	5,411	5,425	5,370	-56	-1.0%
営業利益	3,286	3,332	3,290	-42	-1.3%
経常利益	3,124	3,130	3,180	+49	+1.6%
当期純利益	1,449	1,453	1,610	+156	+10.8%
ROE(株主資本利益率)	9.2%	9.2%	10.4%	+1.2ppt	
フリー・キャッシュフロー	2,997	2,997	3,120	+123	+4.1%

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,360	2,333	2,420	+86	+3.7%
EPS(円)	24,657.57	24,378.59	25,416.23	+1,037.65	+4.3%
1株当たり配当金(円)	6,800	6,800	8,000	+1,200	+17.6%
配当性向	27.6%	27.9%	31.5%	+3.6ppt	

事業セグメント別業績予想 (単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高 ^{(注1)(注2)}	24,861	24,326	24,970	+644	+2.6%
〔国内たばこ事業 ^(注1)	10,278	10,278	11,000	+721	+7.0%
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	10,170	9,635	9,580	-55	-0.6%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,566	19,469	18,950	-520	-2.7%
〔国内たばこ事業 ^(注3)	6,179	6,179	5,690	-489	-7.9%
海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)}	8,974	8,877	8,870	-8	-0.1%
医薬事業	469	469	500	+30	+6.4%
食品事業	3,750	3,750	3,730	-20	-0.5%
その他の売上高	192	192	160	-32	-16.8%
EBITDA ^{(注2)(注5)}	5,411	5,425	5,370	-56	-1.0%
〔国内たばこ事業	2,576	2,576	2,440	-137	-5.3%
海外たばこ事業 ^(注2)	2,881	2,930	3,020	+90	+3.1%
医薬事業	-132	-132	-140	-7	-
食品事業	172	172	200	+27	+15.8%
その他/全社・消去	-87	-121	-150	-29	-
営業利益 ^(注2)	3,286	3,332	3,290	-42	-1.3%
〔国内たばこ事業	2,129	2,129	1,990	-139	-6.5%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,561	1,640	1,760	+120	+7.3%
医薬事業	-174	-174	-180	-5	-
食品事業	-94	-94	-85	+9	-
その他/全社・消去	-135	-168	-190	-21	-
減価償却費 ^{(注2)(注6)}	2,124	2,093	2,080	-14	-0.6%
〔国内たばこ事業	447	447	450	+2	+0.5%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,320	1,289	1,260	-30	-2.3%
医薬事業	41	41	40	-1	-3.5%
食品事業	266	266	285	+18	+6.8%
その他/全社・消去	47	47	40	-8	-16.3%

(単位:億円、%)

資本的支出 ^(注2)	1,460	1,460	1,340	-120	-8.2%
〔国内たばこ事業	559	559	635	+75	+13.4%
海外たばこ事業 ^(注2)	609	609	430	-179	-29.4%
医薬事業	28	28	30	+1	+3.9%
食品事業	250	250	200	-50	-20.0%
その他/全社・消去	12	12	40	+28	+224.7%

(参考) (単位:百万ドル、%)

	2010年 実績 (旧)	2010年 実績 (新)	2011年 見込	増減	増減率
海外たばこ事業	10,223	10,113	11,230	+1,117	+11.0%
調整後売上高 ^{(注2)(注4)}	10,223	10,113	10,930	+817	+8.1%
為替中立ベース海外たばこ事業 調整後売上高 ^{(注2)(注4)(注7)}	10,223	10,113	10,930	+817	+8.1%
海外たばこ事業EBITDA ^(注2)	3,282	3,338	3,830	+492	+14.8%
為替中立ベース 海外たばこ事業EBITDA ^{(注2)(注7)}	3,282	3,338	3,810	+472	+14.2%

(注1):たばこ税相当額を控除

(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月

(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

(注7):2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
販売数量	1,346	1,030	-316	-23.5%

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	2010年	2011年	増減	増減率
総販売数量※	4,284	4,260	-24	-0.6%
GFB販売数量	2,498	2,570	+72	2.9%
円/USドルレート	87.79	79.00	-8.79	11.1%高
RUB/USドルレート	30.36	30.00	-0.36	1.2%高
GBP/USドルレート	0.65	0.62	-0.03	4.0%高
EUR/USドルレート	0.75	0.71	-0.04	5.3%高
CHF/USドルレート	1.05	0.90	-0.15	16.4%高
TWD/USドルレート	31.73	29.00	-2.73	9.4%高

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	916	930	20年

###(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	11年3月期	12年3月期	償却年数
テーブルマーク関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	242	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203	277	1,346
2011年度	184	324			

2. 四半期別定価代金

(単位:億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133	5,669	22,689
2011年度	3,736	6,625			

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税抜売上高

(単位:円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582
2011年度	5,444	5,516			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税)
- たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税)} / 販売数量 ×1,000

4. 四半期別シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1
2011年度	40.8	59.3			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JTタール1mg製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4
2011年度	9.8	14.1			

②1mg市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2
2011年度	24.7	23.9			

③セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7
2011年度	39.6	58.8			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JTメンソール製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3
2011年度	3.2	6.3			

②メンソール市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3
2011年度	26.1	24.2			

③セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2
2011年度	12.4	26.2			

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT440円以上製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3
2011年度	8.1	15.1			

②440円以上市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4
2011年度	37.6	36.4			

③セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1
2011年度	21.5	41.3			

(注)：2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70
2011年度	5.41	9.19			

* キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2011年10月31日現在)

開発名(一般名など)	開発段階	主な適応症	作用機序/剤形	詳細	権利	
JTK-303 (elvitegravir)	国内 : 申請準備中 (配合錠として)	HIV感染症	インテグラーゼ阻害 /経口	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に 関わる酵素であるインテグラーゼの働 きを阻害する	米国ギリアド・サイエン シズ社へ日本を除く全世 界の開発・商業化権を導 出(同社では申請中(配 合錠として))	
JTT-705 (dalcetrapib)	国内 : Phase2	脂質異常症	CETP(コレステリルエス テル転送蛋白) モジュ レート /経口	CETP(コレステリルエス テル転送蛋白) モジュ レート /経口	HDL(高密度リポ蛋白 : 善玉コレステ ロール)中のコレステロールをLDL(低 密度リポ蛋白 : 悪玉コレステロール) に転送するCETP活性を調節することに より、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本 を除く全世界の開発・商 業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (granotapide)	国内 : Phase2 海外 : Phase2	脂質異常症	MTP(ミクロソームトリ グリセリド転送蛋白) 阻 害 /経口	MTPを阻害することにより、コレステ ロール及びトリグリセリドの吸収を抑 制し、脂質値を低下させる		
JTT-302	海外 : Phase2	脂質異常症	CETP(コレステリルエス テル転送蛋白) 阻害 /経口	CETP(コレステリルエス テル転送蛋白) 阻害 /経口	HDL(高密度リポ蛋白 : 善玉コレステ ロール)中のコレステロールをLDL(低 密度リポ蛋白 : 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することに より、血中HDLを増加させる	
JTT-751 (クエン酸第二鉄水 和物)	国内 : Phase3	高リン血症	リン吸着剤 /経口	消化管内で食物から遊離するリンを吸 着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオ ファーマシューティカルズ社より日本における開 発・商業化権を導入 (鳥居薬品と共同開発)	
JTK-853	海外 : Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻 害 /経口	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメ ラーゼを阻害する		
JTT-851	国内 : Phase1	2型糖尿病	GPR40(6蛋白質共役型受 容体) 作動 /経口	GPR40(6蛋白質共役型受 容体) 作動 /経口	グルコース依存的にインスリン分泌を 促進し、高血糖を是正する	
JTZ-951	国内 : Phase1	腎性貧血	HIF-PHD(低酸素誘導因 子-プロリン水酸化酵素 ドメイン含有蛋白) 阻害 /経口	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺 激ホルモンであるエリスロポエチンの 産生を促し、赤血球を増加させる		

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回(2011年7月28日)公表時からの変更点:

JTZ-951の国内臨床入り

JTT-305、JTK-656の開発中止

JTK-303について、導出先のギリアド・サイエンシズ社が、配合錠として承認申請したことから権利欄に記載